



エスパールワンエース®

鉄部さび止め、町場のエース!

「ニッペエスパールワンエース」は一般鉄部のさび止めに最適な塗料です。使い勝手も良く、速乾タイプで、なめらかで平滑なきめ細かい肌に仕上がり、上塗り塗料のつやを十分に活かすことができます。またF★★★★、有害重金属を配合しておらず、作業者にも、環境にも優しい塗料です。

特長

一般鉄部のさび止めに最適な速乾タイプのさび止め塗料

① 使いやすいターペン可溶1液タイプ

塗料用シンナーAで希釈ができ、硬化剤不要な1液タイプですのでポットライフを気にすることなく、使いやすい塗料です。

② すぐれた防錆力

最適な防錆顔料配合により、すぐれた防錆力があります。

③ すぐれた付着性

広範な旧塗膜に適應できます。

④ 速乾ですぐれた作業性

4時間以上(23℃)の乾燥時間で上塗り塗装が可能な速乾タイプです。

⑤ 環境配慮

ホルムアルデヒド放散等級F★★★★です。
また、有害重金属の鉛・クロムを配合しておりませんので、作業者にも環境にも優しい塗料です。

塗料性状・荷姿

製品名	色相	容量	希釈剤	希釈率	使用量 (kg/m ² /回)	塗装方法
ニッペ エスパールワンエース	黒さび色 (日塗工 19-20B程度) 赤さび色 (日塗工 09-40L程度) グレー (日塗工 N-70程度) クリーム (日塗工 25-92B程度) ホワイト (白さび色) (日塗工 N-95程度)	16kg 4kg	塗料用 シンナーA	5~10%	0.13~0.15	はけ ウールローラー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。

・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

注)「ニッペエスパールワンエース」の塗付け量は、0.10kg/m²/回です。●使用量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ●塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

色相

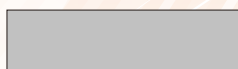
※色は印刷インクのため近似色です。



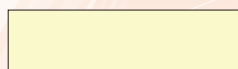
黒さび色
(日塗工19-20B程度)



赤さび色
(日塗工09-40L程度)



グレー
(日塗工N-70程度)



クリーム
(日塗工25-92B程度)



ホワイト (白さび色)
(日塗工N-95程度)

標準塗装仕様(塗り替え) ※仕上げは下記 主な適用上塗り塗料 をご参照ください。

塗装工程	塗料名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り 回数	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	シンナー名	希釈率	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を入念に除去する。さびは電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を含めて除去し、鋼材を露出させる。油脂分などの付着物は完全に除去し、活膜部の表面を含め全面を面直しし、清掃する。						
下塗り	ニッペ エスパークエース	0.13～0.15	1	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5～10%	はけ・ウルローラー

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

・旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

・塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。

・さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なクレン後、ニッペエスパークエースで部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

注)【ニッペエスパークエース】の塗付け量は、0.10kg/㎡/回です。●使用量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ●塗付け量:被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

主な適用上塗り塗料

当社製品名	
●1液ファインウレタンU100	●ファインウレタンU100
●1液ファインシリコンセラーUV	●ファインSi
●Hi-CRデラックスエコII	●シリコンルーフII など

・上記以外の適用上塗り塗料につきましては、最寄の営業所までお問い合わせください。

乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間	40分	30分
塗り重ね乾燥	5時間以上7日以内	4時間以上7日以内	3時間以上7日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

下地素材適応性

適応素材		
●鉄	●電気亜鉛めっき	●劣化溶融亜鉛めっき※

※6ヶ月以上暴露され光沢がないものに使用してください。白さびが発生している場合は必ず

除去してください。キラキラと光沢がある場合は塗装を避けてください。

・上記以外の下地素材適応性につきましては、最寄の営業所までお問い合わせください。

旧塗膜適応性

適応旧塗膜
●各種旧塗膜(SOP、フタル酸、アクリル、ポリウレタン、アクリルシリコンなど)

・上記以外の旧塗膜適応性につきましては、最寄の営業所までお問い合わせください。

■注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などでご確認ください)

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. エスパークエースの色相の違いの塗り重ねは、避けてください。やむなく色相違いの塗り重ねをする際は、1回目クリーム、2回目ホワイトで塗り重ねてください。1回目赤さび色、2回目クリーム、ホワイト、グレーの組み合わせでは絶対に塗り重ねないでください。1回目の色がブリードすることがあります。
3. 一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起こしますので、適正な膜厚で塗装してください。
4. 塗り重ね日数を過ぎた場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで面直ししてから塗り重ねてください。
5. 上塗りとして水性ファインウレタンを塗り重ねないでください。
6. 塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引いているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
7. さびは、ワイヤブラシ・サンダーペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なクレンを行ってください。
8. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。
9. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
10. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
11. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなう場合があります。
12. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
13. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
14. 素地の乾燥は十分に行ってください。
15. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
16. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
17. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
18. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
19. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
20. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
21. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
22. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
23. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
24. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
25. 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
26. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
27. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
28. 塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで目粗ししてから塗り重ねてください。
29. 洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
30. 希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。
31. 乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5℃以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
32. 強溶剤系上塗り塗料(ハイボン50など)は、上に塗り重ねないでください。
33. 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
34. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
35. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
36. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 「エスパーク」登録第4150504号は、日本ペイント株式会社が権利者の登録商標です。
- ©Copyright 2026 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

最新情報・お役立ち情報発信中

日本ペイント
公式LINE



カタログNo.

NP-E106

AA260700P
2026年7月現在